

## 火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

4月になり火の魂カンパニーにも9名の新入社員が入社してきました。

数多くある企業の中で、縁あって火の魂を選んでくれたことを心から感謝しています。

それと同時に私の夢（想い）に共感した仲間が増えたことを心強く思うし、自分たちの意思で選んだ道を必ず正解にしてほしいと思います。

改めて今年度も社員と共に成長し、理想の会社を創っていきます。

さて、今月の社長からの手紙は、そんな新入社員に向けて書いていることを今年も想いを込めて書き綴っていきたいと思う。 私がこの時期に決まって書くことは「就職＝結婚」だという考え方に共感できる人が火の魂カンパニーに入社する条件だということ。

「就職＝結婚」という考え方は、今から8年前の大卒に向けた新卒採用を始めるときに私が考えた言葉である。 この「就職＝結婚」とは、就職と結婚の目的は同じもので、長い人生を生きていく上で支え合える相手を選び、互いに必要な存在であると定義している。就職も入社がゴールではないし、結婚も入籍がゴールではない、人生最後の最後までお互いが必要とされる存在であり続けることが大切だと私は考えている。

あくまで私の考えだが、結婚してからの人生は、とても長く二人でいて幸せな時間と言うより、お互いが協力しあい、様々な苦難困難問題や障害を乗り越えていくためのパートナー選びと言っても過言ではないだろう。 例えば結婚で言えば、お互いに力を合わせて乗り越えていくことは、初めて子供を授かり子育てや仕事の両立、夫婦二人の力を合わせる必要があるし、進学となれば多額なお金もかかるのも事実であり、病気や怪我や思いもよらぬ出来事も長い人生では必然的に起きるものです。

その時の事を考えてから支え合える人であったり、そんな時に力になりたい人の方が、何がおきるかわからない長い人生では、お互いを必要とし合う関係のほうが良いと考えます。そんなお互いがお互いの存在を必要として、これからの人生を共に乗り越えていく人が「貴方しか居ない」という存在である事が重要だと思うし、それは結婚だけでなく、働く会社との関係も、そうでありたいと私は「就職＝結婚」に想いを込めて伝えている。

---

## 働く人達にとって火の魂カンパニーが必要とされる存在になる。

火の魂で働く人の長い人生の中で、「私にとって火の魂が必要な存在」と実感できる会社を、今年も入社した新入社員と共に目指していきます。

この手紙に書いた事で理想と現実のギャップはまだありますが、創業から思い描いたこの夢を私の人生をかけて実現させていきます。

精神的にも経済的にも火の魂カンパニーが地域の人から愛され、働く人から必要とされる存在に社員と共に成長し苦難困難問題や障害を乗り越え、共に支え合い目指していきます。新入社員の皆さん、貴方の「成長」がこの手紙に書いた思いを形にしていますよ！